

事業成果報告書

※後日、フォーマットをメールで送信いたしますので、次のアドレスにメール添付でお送りください。

竹村和子フェミニズム基金 <t-fund@npo-ochanomizu.org>

1. 個人または団体名(団体の場合は代表者名も記入)	
リ ア ヨ ウ 李 亜 姣	
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
『現代中国の高度成長とジェンダー —— 農嫁女問題の分析を中心に ——』の出版	
3. 助成額	
400,000 円	
4. 実施期間	
2021 年 7 月 ～ 2022 年 6 月	
5. 実施状況	
2021 年 7 月 1 日	東方書店編集者と出版に向けてのスケジュールを確認。
同 9 月初旬	博士論文の書籍化に向けた修正に着手。
同 12 月初旬	修正稿を出版社に提出。
2022 年 1 月下旬	初校ゲラが届き、校正に着手。
同 2 月下旬	初校が終了し出版社に送付。
同 3 月初旬	後書きと索引作成終了し、出版社に提出。
同 5 月下旬	本文再校ゲラが届き、校正に着手。
同 6 月初旬	本文再校終了し出版社に送付。
同 6 月中旬	本文念校と索引初校ゲラが届き、校正に着手。
同 6 月下旬	本文念校と索引初校終了し、出版社に送付。
同 6 月 30 日	本文及び索引校了。カバー装丁を決定。 出版。 基金より授与された助成金を出版社へ出版助成金として送金。
6. 事業成果と自己評価	
1. 事業成果	
『現代中国の高度成長とジェンダー —— 農嫁女問題の分析を中心に ——』の出版	
初版第 1 刷発行：2022 年 6 月 30 日	
発行所：株式会社東方書店	
判型・製本：A5 判、横組み、上製本	
頁数：336 頁	
定価：本体 7,000 円	
2. 自己評価	
中国改革開放以降（1978 年～）、都市化、工業化が進むにしたがって、農民たちが利用していた土地の略奪が強化された。地方政府は非常に低い価格で農民から土地を収用したが、そうした土地収用に對する補償金は、村のなかで村民たちの間で分配された。その際に、村役場は「女性が結婚したら、	

夫の村へ移住すべし」という伝統的なジェンダー秩序に基づいて村内での分配のルールを制定した。そのため、一部の女性やその子供が土地収用に対する補償金の分配から排除された。また、土地請負経営権や農村集団組織の収益金の分配、宅地等の分配でも同様に一部の女性が排除された。具体的には、結婚後、村外の男性と出身村で生活する女性とその家族、都市戸籍の男性と結婚した女性とその子供、離婚して生家に戻った女性とその子供、まもなく結婚して村外へ移住すると予測される未婚女性等が補償金や権利の分配から排除された。そうした女性たちは「農嫁女」とも呼ばれる。

本書は、2014年から2018年にかけて中国各地のフィールドワークで得られた一次資料にもとづいて、農嫁女問題が発生する構造を明らかにすることをつうじて、歴史学、経済学、政治学、ジェンダー学等の分野に対して実証的かつ理論的貢献を果たした点で、独自の学術的価値を有する。本書の斬新さや研究結果は、以下のように整理できる。

【1】従来、近代中国女性の土地に対する権利の歴史は、「中国共産党がリードした土地革命の成果の一部」として描かれてきた。しかし、近代中国女性の土地に対する権利の形成と発展は、前近代からの平均主義の継承や「フェミニズム」概念の受容と密接にかかわっている。こうした着想のもと、本書は新しく発掘した一次史料を用いて、平均主義とフェミニズムが交錯し具体化することによって、近代中国女性の土地に対する権利が成立・発展した歴史を初めて明らかにした。

【2】、これまでの中国経済研究において、現代中国の高度成長についての研究は、新古典派経済学アプローチが主流になってきた。本研究は、土地の市場化過程において、政府は夫方居住婚を強化することで資本蓄積をいっそう効率よく進めたと指摘し、農嫁女問題を中国の市場化転換期における国家介入型資本主義家父長制の現れの一つであり、現代中国における進行中の本源的蓄積の重要な側面であると捉える。

【3】、従来、政治学アプローチから中国の土地財政、土地収用について行われた研究は、中央—地方、あるいは中央—省—基層政府（市、県）という二種類の関係に注目してきた。しかし、これらの研究は、農村集団経済組織の設立、中華全国婦女聯合会と国家との協働を見逃していた。本書は、農村集団経済組織がジェンダー非対称な規則の下で設立された過程、さらに女性の土地をめぐる権利の剥奪に加担する国家レベルの立法・政策形成過程に中国最大の女性組織・婦女聯が協力し、果たした具体的な役割を明らかにした。

【4】、長期に亘る綿密な現地調査に基づいて、農村女性のフェミニズム運動と都市フェミニズム運動（中国の若い行動派フェミニスト、都市民間女性法律援助組織等）との協働性を考察し、中国農村女性のフェミニズム運動の現状とその将来像を把握し、中国民主化運動に寄与しうる農村女性のフェミニズム運動の動勢を捉えたという点で、本書は独創性をもつ。

【5】、本書は、A村土地開発における農村女性の対抗運動を事例に、農村女性、彼女たちの親戚・家族・隣人への半構造インタビュー、参与観察を通して、彼女たちの世帯・生家・宗族内部の組織体をジェンダーの視点から分析することによって、従来中国農村における抗議活動を分析する際に用いられてきた主要な概念——「依法抗争」の限界を理論的かつ実証的に明確化した。

7. 提出成果物

書籍：李亜姣著『現代中国の高度成長とジェンダー ——農嫁女問題の分析を中心に——』

発行所：株式会社東方書店

2022年6月30日 初版第1刷発行

ISBN 978-4-497-22209-1

